

ヨコハマへ贈る、一夜限りのライブプレゼンテーション
「PechaKucha Night YOKOHAMA vol.14(ペチャクチャナイト)」開催
横浜を舞台に様々な分野で活躍するプレゼンターによる一夜限りのエキチカトークライブ

開催期間:2022年3月5(土) 18時30分~20時00分

開催場所:JR横浜タワー 2階アトリウム 特設ステージ

JR横浜駅および周辺エリア“YOKOHAMA Station City”の活性化に取り組む YOKOHAMA Station City 運営協議会は、JR横浜タワー2階アトリウムにてプレゼンテーションイベント『PechaKucha Night YOKOHAMA vol.14』を2022年3月5日(土)に開催いたします。



本イベントは、「have a Yokohama」と「PechaKucha Night YOKOHAMA」のコラボレーション企画で、横浜を舞台に様々な分野で活躍されている方々にご登壇いただき、JR横浜タワー内アトリウムで、お客さまにプレゼンテーションをお楽しみいただきます。今回は、「have a Yokohama」をテーマに据え、横浜に所縁のある7名の登壇者がそれぞれ20枚のスライドを1枚あたり20秒使ってプレゼンテーションを行います。駅直結の都会的な立地でありながら自然のぬくもりを感じることができるJR横浜タワーのアトリウムは、“街のラウンジ”として親しまれており、ゆったりとお過ごしいただけます。

地域とつながるメディア「have a Yokohama」は“横浜の横浜による横浜のためのステーションメディア”として、2015年から2020年の5年間、JR横浜タワー開業前の工事用仮囲いで展開。2020年以降はJR横浜タワーの随所で横浜の名所、名品、名産、名人などを紹介してまいりました。本企画「PechaKucha Night YOKOHAMA vol.14」は、ここで培った地域ネットワークを生かし、エキチカにしながら“横浜ならではの”リアルなトークをお楽しみいただくという新しい形のライブプレゼンテーションイベントです。

YOKOHAMA Station Cityでは今後も、『PechaKucha Night YOKOHAMA』の様な多くの方にお楽しみいただけるイベントの企画・開催を通じて、エリアの魅力発信と価値の向上に取り組んでまいります。

「PechaKucha Night YOKOHAMA vol.14」 概要

開催期間: 2022年3月5日(土) 18時30分~20時00分

料 金: 無料

概 要: JR横浜タワー 2階アトリウム的大型サイネージを使用したライブプレゼンテーションイベント

開催場所: JR横浜タワー 2階アトリウム 特設ステージ

主催者: YOKOHAMA Station City 運営協議会

運 営: ペチャクチャナイト横浜オーガナイザーチーム

登壇者: ※登壇者は、予告なく変更となる場合がございます。



EduArt 望月実音子

EduArt (エデュアート) 代表、マサチューセッツ州立美術大学卒。NYにて10年間アパレルデザインの仕事に携わる傍、舞台衣装を制作。帰国後、アート団体 LITTLE ARTISTS LEAGUE を結成。横浜を拠点に、表現の多様性とグローバルマインドを育む活動を展開。2022年春からはアートを通してグローバルシティズン育成に取り組む、新規事業 EduArt をスタート。



YADOKARI 株式会社 さわだいっせいさん

YADOKARI 株式会社 代表取締役 CEO。暮らし(住まい方・働き方)の原点を問い直し、これからを考えるソーシャルデザインカンパニー「YADOKARI」。遊休不動産と可動産を活用したまちづくり企画プロデュース、メディア運営、小屋・タイニーハウス・バンの企画開発を手掛ける。世界中の小さな家を紹介する「YADOKARI.net」、100均物件マッチングサイト「空き家ゲートウェイ」、日本初・可動産活用の高架下複合施設「Tinys Yokohama Hinodecho(グッドデザイン賞、ソトノバアワード場のデザイン賞)」を企画運営。



株式会社角川アスキー総合研究所 山本篤史さん

株式会社角川アスキー総合研究所 コンテンツ制作部 エリアコンテンツ課ラーメン Walker/夜景 LOVEWalker 編集長。横浜生まれ横浜育ち横浜在住。「横浜ウォーカー」に創刊から関り、編集長を10年以上務める。また「崎陽軒 Walker」「神奈川の山登り&ハイキング」などこれまでに横浜・神奈川エリアで様々なメディア企画を担当。趣味はブラジリアン柔術。



株式会社スミィデザインラボ 吉水 卓さん

株式会社スミィデザインラボアートディレクター。米国フィラデルフィアにて総合芸術を学ぶ。帰国後、デザイン事務所「株式会社スミィデザインラボ」を設立。近年は、日本を代表するアニメーション作品とのコラボレーションアートを発表。アートとコマースの境界線無く活動。独特なタッチの絵は国内外で評価されている。



株式会社ジョビア 吉備カヨさん

株式会社ジョビア 代表取締役。有料職業紹介、人材派遣を基幹事業とする今期 63 期目の人材会社の代表。主に女性の雇用の創出に注力してきた。コロナ禍に新規事業として、老朽化ビルを活用し、LED による水耕栽培、製造加工、販売までを一貫通貫で行う6次産業と収穫物の店産店消を実現。元フィギュアスケート日本代表。



横浜市 都市デザイン室 梶山祐実さん

横浜市都市整備局企画部都市デザイン室長。1994 年横浜市入庁。2001 年より 3 年間で、都市デザインの推進等に従事する。2004 年から文化観光局の前身の文化芸術創造都市事業本部の創造都市推進課にて、創造都市施策の推進に従事する。2013 年より建築局に勤務し、都市計画の指導や福祉のまちづくり条例等を担当する。2017 年度より現職。



下町編集室 OKASHI 小林璃代子さん

2000 年生まれ、横浜育ち。横浜市立大学で社会学を学ぶ大学生。人と人がつながるきっかけや受け継がれるものに興味を持ち、現在は横浜橋通商店街を拠点に場づくりとアーカイブをおこなう学生団体「下町編集室 OKASHI」の代表として、横浜の下町の楽しみ方を深堀り・発信している。写真と遊郭史と吉田新田が好き。

「ペチャクチャナイト(PechaKucha Night,PKN)」について



ペチャクチャ・ナイト(PechaKuchaNight、PKN)とは日本を拠点とする建築事務所クライン・ダイサム・アーキテクツの代表である、アストリッド・クライン(Astrid Klein)とマーク・ダイサム(Mark Dytham)によって考案された、20 枚のスライドを 1 枚あたり 20 秒使ってプレゼンテーションする形式を用いたプレゼン・イベント。2003 年 2 月に東京で初めて開催されて以降、そのムーブメントは全世界 700 以上の都市に広がっています。

「have a Yokohama」について



2015 年の冬から 2020 年まで、全 15 号にわたり、工事用仮囲いから横浜の名所、名品、名産、名人などを紹介してきた「have a Yokohama」。「have a Yokohama」には「横浜を体験する」という意味が込められています。「Have a good day.(良い1日を)」、「Have a nice trip.(良い旅を)」などのような、あいさつの響きをもつ言葉をタイトルにすることで、目にした人に「横浜で時をすごしてほしい」と語りかけるような想いと、「横浜を体験できる」メディアとなってほしいという願いが込められています。

「YOKOHAMA Station City 運営協議会」について

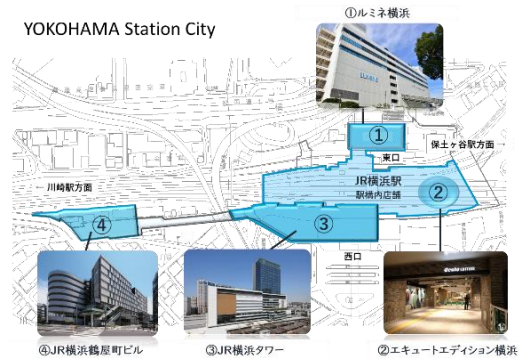
会長: 照井 英之 (東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長)

住所: 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-26

URL: <https://yokohamastationcity.com/>

「YOKOHAMA Station City」の誕生に併せて発足した、JR 東日本グループ9社から成る JR 横浜駅のタウンマネジメント組織です。「YOKOHAMA Station City」に関する情報発信・PRをはじめ、JR 横浜タワー内のアトリウムや屋上広場「うみそらデッキ」、JR 横浜駅南改札内「SOUTH COURT」といったイベントスペースのトータル管理・運営などを通じて、JR 東日本グループ一体となって JR 横浜駅のイメージ向上および、駅周辺エリアの活性化に取り組んでいます。

【エリア内 JR 東日本グループの施設】



①ルミネ横浜

②JR 横浜駅(エキュートエディション横浜、駅構内店舗)

③JR 横浜タワー(ニューマン横浜、シアル横浜、STATION SWITCH)

④JR 横浜鶴屋町ビル(シアル横浜アネックス、JR 東日本ホテルメッツ 横浜、
ジェクサー・フィットネス&スパ横浜)

【会 員】

東日本旅客鉄道(株)、(株)ルミネ、(株)横浜ステーションビル、(株)ジェイアール東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR 東日本クロスステーション、JR 東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)JR 東日本環境アクセス (計 9 社)